

# 町田市高齢者福祉計画 2020年度 進捗状況評価結果

## <目次>

1 主な取組の進捗評価結果一覧	1
2 基本目標・基本施策別 主な取組の進捗評価 集計結果	2
3 主な取組の進捗評価結果(詳細)	3
基本目標 1 地域参加と生きがいづくりの推進	3
基本目標 2 住み慣れた地域での生活継続の推進	8
基本目標 3 自分に合った施設や住まいの選択	16
基本目標 4 安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり	20

町田市高齢者福祉計画 2020年度進捗状況評価結果について

1 主な取組の進捗評価結果一覧

基本目標	基本施策	施策	事業名	進捗評価	
1	(1)	①生きがい・集う場づくりの支援	ア 老人クラブ育成事業	○	
			イ 高齢者スポーツ普及事業	△	
	(2)	①高齢者に対する健康づくり・介護予防	ウ ふれあい館(高齢者福祉センター)機能の検討	○	
			ア シルバー人材センター振興事業	○	
	(3)	①高齢者の地域参加の推進	ア 高齢者の健康づくり	△	
			カ 介護予防ケアマネジメント	△	
	2	(1)	①見守り支援ネットワークの地域の拡充	キ 短期集中型サービス	○
				ク 地域介護予防自主グループ支援	◎
		(2)	①徘徊高齢者検索ネットワーク	ケ 町田を元気にするトレーニング(「町トレ」)	◎
				コ 介護予防の普及啓発	○
		(3)	①適切な生活支援サービスの実施	ア いきいきポイント制度	○
				イ 介護予防サポーター養成事業	◎
(4)		①身近な相談体制の強化	ウ 支え合い連絡会	○	
			エ 地域活動団体型サービス	◎	
(5)		①認知症高齢者支援	オ 市基準型サービス	○	
			ア 高齢者見守り支援ネットワーク事業	○	
(6)		②認知症高齢者の家族への支援	イ 事業者での見守り	◎	
			ウ あんしんキーホルダー事業	△	
(7)	③家族介護者の負担軽減となる支援	ア 徘徊高齢者検索ネットワーク	○		
		イ 緊急通報システム	○		
(8)	④成年後見制度への支援	ア 災害時要配慮者支援体制	○		
		イ 福祉避難施設(二次避難施設)	◎		
(9)	⑤高齢者の虐待防止事業	ア 食の自立支援サービス	○		
		イ 寝具洗濯乾燥消毒サービス	○		
(10)	⑥在宅生活継続の支援	ウ 高齢者のための暮らしのてびきの作成・配布	△		
		エ 長寿祝金の贈呈	○		
(11)	⑦特別養護老人ホームなどの施設整備の推進	オ 高齢者無料入浴券の配布	○		
		カ 高齢者調髪券の交付	○		
(12)	⑧医療と福祉の連携	キ シルバー調髪カート発行事業	○		
		ク 在宅高齢者紙おむつ支給事業	○		
3	(1)	②多様な住まいの普及	ア 高齢者支援センター運営事業	○	
			イ もの忘れ相談事業	○	
(2)	①地域に密着した介護保険サービス施設の整備推進	イ 認知症サポーター養成講座事業	○		
		ア 町田市認知症施策推進協議会の開催	○		
(3)	①特別養護老人ホームなどの施設整備の推進	イ 臨床心理士等による介護者等相談	○		
		ア 家族介護者教室	○		
4	(1)	①介護保険サービスの質の向上	イ 家族介護者交流会	○	
			ウ 徘徊高齢者家族支援サービス事業	○	
(2)	①介護人材の育成・確保の支援	ア 成年後見制度への支援	○		
		イ 市民後見人の活用	○		
(3)	①医療と福祉の連携	ア 高齢者虐待防止連絡協議会	○		
		イ 高齢者虐待防止の啓発	○		
3	(1)	②多様な住まいの普及	ア 高齢者住宅設備改修給付事業	△	
			イ 有料老人ホーム(介護付・介護専用)の普及	○	
(2)	①地域に密着した介護保険サービス施設の整備推進	ウ 養護老人ホーム	○		
		ア 地域密着型サービス整備	◎		
(3)	①特別養護老人ホームなどの施設整備の推進	イ 認知症高齢者グループホーム	○		
		ウ 軽費老人ホーム(ケアハウス含む)	○		
4	(1)	①介護保険サービスの質の向上	イ 認知症対応型デイサービス	○	
			ウ サービス付高齢者向け住宅	○	
(2)	①介護人材の育成・確保の支援	イ 有料老人ホーム(介護付・介護専用)の普及	○		
		ウ 養護老人ホーム	○		
(3)	①医療と福祉の連携	ア 広域型介護保険施設整備	△		
		イ 特別養護老人ホーム	○		
4	(1)	①介護保険サービスの質の向上	イ 介護老人保健施設	△	
			ウ ケアマネジメントの充実	○	
(2)	①介護人材の育成・確保の支援	ア 福祉サービス第三者評価受審助成等事業	○		
		イ 介護相談員派遣事業	○		
(3)	①医療と福祉の連携	ウ ケアマネジメントの充実	○		
		ア 介護人材開発事業	○		
4	(1)	①介護保険サービスの質の向上	ア 認知症電話相談	△	
			イ 認知症地域支援推進員の育成	○	

## 2 基本目標・基本施策別 主な取組の進捗評価 集計結果

「◎(計画以上に進んでいる)」が10.2%(取組数:6)、「○(計画どおり進んでいる)」が74.6%(取組数:44)で、計84.8%(取組数:50)の取組が計画以上、または計画どおりに進捗しています。各指標の実績をみると、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により低下の傾向が見られますが、全体としては概ね計画どおり進んでいます。

基本目標	基本施策	進捗評価の構成割合		
		◎	○	△
1	地域参加と生きがいづくりの推進	26.7%	53.3%	20.0%
	(1) 高齢者の生きがい・集う場づくり【重点】	0.0%	75.0%	25.0%
	(2) 健康づくり・介護予防の推進【重点】	33.3%	33.3%	33.3%
	(3) 地域の担い手づくり	40.0%	60.0%	0.0%
2	住み慣れた地域での生活継続の推進	7.4%	85.2%	7.4%
	(1) 見守り支援ネットワークの推進【重点】	33.3%	33.3%	33.3%
	(2) 要配慮高齢者支援	25.0%	75.0%	0.0%
	(3) 生活支援サービスの実施	0.0%	87.5%	12.5%
	(4) 高齢者支援センターの機能の充実【重点】	0.0%	100.0%	0.0%
	(5) 認知症高齢者及び家族介護者支援【重点】	0.0%	100.0%	0.0%
	(6) 高齢者の権利擁護	0.0%	100.0%	0.0%
3	自分に合った施設や住まいの選択	0.0%	72.7%	27.3%
	(1) 高齢者の住まいの選択肢拡大	0.0%	83.3%	16.7%
	(2) 地域に密着した介護保険サービスの提供【重点】	0.0%	66.7%	33.3%
	(3) 介護保険施設の整備【重点】	0.0%	50.0%	50.0%
4	安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり	0.0%	83.3%	16.7%
	(1) 介護保険サービスの質の向上	0.0%	100.0%	0.0%
	(2) 介護人材の育成・確保	0.0%	100.0%	0.0%
	(3) 保健・福祉・医療の連携	0.0%	50.0%	50.0%
5	介護保険事業の円滑な運営	介護保険事業計画において評価		
	(1) 介護保険施設の整備			
	(2) 地域支援事業の実施			
	(3) 介護給付・運営の適正化			
合計		10.2%	74.6%	15.3%

### <凡例>

- ◎・・・計画以上に進んでいる
- ・・・計画どおり進んでいる
- △・・・計画どおり進んでいない

### 3 主な取組の進捗評価結果(詳細)

基本目標 1	地域参加と生きがいつくりの推進	
基本施策 (1)	高齢者の生きがい・集う場づくり【重点】	計画p.46~/修正p.9~

#### 施策 ① 生きがい・集う場づくりの支援

事業名		ア. 老人クラブ育成事業	
評価	指標	老人クラブ数	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	122クラブ
	2018年度		123クラブ
	2019年度		120クラブ
	2020年度		111クラブ(見込)
2020年度の具体的な取組・成果	・役員の後継者不足によるクラブの解散が重なりました。		
課題および今後の方向性	・老人クラブ内での役員の後継者不足が深刻であるため、町田市老人クラブ連合会と協力し、役員育成指導を充実させる必要があります。		

事業名		イ. 高齢者スポーツ普及事業	
評価	指標	大会等参加者数	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	1,639人
	2018年度		1,653人
	2019年度		1,360人
	2020年度		0人
2020年度の具体的な取組・成果	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、予定していたゲートボール大会を全て中止しました。		
課題および今後の方向性	・新型コロナウイルス感染症の感染予防対策をしたうえで、ゲートボール大会を開催する必要があります。今後、関連団体と大会開催方法について協議していきます。		

事業名		ウ. ふれあい館(高齢者福祉センター)機能の検討	
評価	指標	-	
		目標値	実績値
	2017年度	管理運営体制の見直し	介護予防スペースへの改修(2館)
	2018年度		長寿号運行ルートの見直し
	2019年度		職員配置の見直し
	2020年度		ふれあい館事業(風呂・長寿号)の見直し
2020年度の具体的な取組・成果	・ふれあい館の運営にかかる事業を見直した結果、風呂と長寿号を終了することを決定しました。		
課題および今後の方向性	・公共施設再編計画を鑑み、ふれあい館として必要な機能を整理する必要があります。 ・機能の整理に併せて、ふれあい館のあり方の検討を行います。		

#### 施策 ② 就労の機会を確保する取組

事業名		ア. シルバー人材センター振興事業	
評価	指標	会員数	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	2,764人
	2018年度		2,804人
	2019年度		2,866人
	2020年度		2,842人
2020年度の具体的な取組・成果	・シルバー人材センターが行う高齢者の就業機会の提供について、支援を行いました。 ・シルバー人材センターの広報活動として、町内会・自治会にパンフレットの掲示を依頼しました。 ・イベント等での活動周知については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。		
課題および今後の方向性	・引き続き、高齢者の就業機会の提供、会員増加について、支援を行います。 ・自主財源を中心とした組織運営ができるように、支援を行います。		

基本目標 1	地域参加と生きがいつくりの推進	
基本施策 (2)	健康づくり・介護予防の推進【重点】	計画p.48～/修正p.10～

### 施策 ① 高齢者に対する健康づくり・介護予防

事業名		ア. 高齢者の健康づくり	
評価	指標	①特定健康診査受診率 ②後期高齢者健康診査受診率 ③健康教育実施回数	
		目標値	実績値
	2017年度		①45.2% ②53.3% ③28回
	2018年度		①45.5% ②53.4% ③27回
	2019年度		①45.0% ②52.7% ③19回
	2020年度	①60% ②60% ③継続	①42.7% ②48.8% ③3回
2020年度の具体的な取組・成果		<p>・2020年度の特定健康診査について、受診勧奨を行うなど受診率向上のための取組みを実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、2019年度実績を2.3ポイント下回る42.7%となる見込みです。</p> <p>・2020年度の後期高齢者健康診査について、健康診査の周知活動を行うなど受診率向上のための取組みを実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、2019年度実績を3.9ポイント下回る48.8%となる見込みです。</p> <p>・健康教育について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を徹底し、優先順位をつけ実施したため、実施回数が減少しました。</p>	
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、特定健康診査受診率・後期高齢者健康診査受診率の向上や、高齢者の健康づくりについての普及啓発に、担当課と連携しながら取り組みます。</p> <p>・健康教育については、高齢期を迎える前に予防医学的なアプローチをすることで健康づくり・介護予防に効果が出る病態があることから、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の状況を踏まえながら、引き続き若年層や現役世代の参加者数の増加のための事業実施を進めます。</p>	

事業名		カ. 介護予防ケアマネジメント	
評価	指標	介護予防ケアマネジメントに関する地域ケア個別会議実施	
		目標値	実績値
	2017年度		検討
	2018年度		モデル会議実施
	2019年度		市と高齢者支援センターで協働実施
	2020年度	実施	高齢者支援センターが実施
2020年度の具体的な取組・成果		<p>・高齢者支援センター主催により、会議を全8回(17事例)実施しました。</p> <p>・取組の推進に向け、アドバイザーの追加募集をし、新しく1名のアドバイザーの養成を行いました。</p> <p>・これまでの会議のフィードバックと次年度開催に向けた改善点の確認を目的とした研修会を実施し、アドバイザーや高齢者支援センター職員と情報共有を図りました。</p>	
課題および今後の方向性		<p>・新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点より、居宅介護支援事業所の参加を見送ったため、2021年度は、地域の居宅介護支援事業所のケアマネジャーが傍聴できる体制を整備し、取組の推進を図ります。</p>	

事業名		キ. 短期集中型サービス	
評価	指標	目標達成率	
		目標値	実績値
	2017年度		73%
	2018年度		76%
	2019年度		77.60%
	2020年度	75%	77.8%
2020年度の具体的な取組・成果		<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4～6月までIADL向上教室の開催を中止しました。7月から再開し、市内5圏域で6教室を実施しました。</p> <p>・利用者は27名で、2021年1月時点で評価票が提出されている9名のうち、7名が3か月の運動トレーニングを通して、生活機能の維持・改善に向けた目標を達成しました。</p>	
課題および今後の方向性		<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった期間に申込された方へのフォローを行います。引き続き、リハビリテーション専門職と連携し、サービスの質の向上に向けた取組みを推進することで目標の達成率の向上(利用者の生活の質の向上)に繋がります。</p>	

事業名		ク. 地域介護予防自主グループ支援	
評価	指標	介護予防に資する活動団体数(累計)	
		目標値	実績値
	2017年度		265団体
	2018年度		294団体
	2019年度		306団体
	2020年度	268団体	318団体
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援センターにおいて、地域介護予防教室終了後3団体の自主グループが立ち上がりました。</li> <li>・上記の新規団体に加え、既に活動をしている9団体が介護予防に資する活動団体として高齢者支援センターに登録され、計12団体の増加となりました。</li> </ul>	
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、自主グループの立ち上げや活動継続を支援していきます。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染状況により、新規グループの立ち上げ及び既存グループの活動継続に困難が生じる場合は、状況に合わせたアドバイスや代替案の提示などの対応を進めます。</li> </ul>	
事業名		ケ. 町田を元気にするトレーニング(「町トレ」)	
評価	指標	「町トレ」のグループ数(累計)	
		目標値	実績値
	2017年度		65団体
	2018年度		119団体
	2019年度		155団体
	2020年度	96団体	164団体(見込)
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民向けのプレゼンテーションの実施等での周知活動を行いました。また、グループの立ち上げを希望する住民団体に対して立ち上げ支援(スタート応援講座)を実施し、新しく9団体(見込)が立ち上がりました。</li> <li>・町トレを実施している各団体へ継続支援を行いました。</li> </ul>	
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き町トレの周知に努め、希望する住民団体に対して立ち上げ支援及び継続支援を行います。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染状況により、新規グループの立ち上げ及び既存グループの活動継続に困難が生じる場合は、状況に合わせたアドバイスや代替案の提示などの対応を進めます。</li> </ul>	
事業名		コ. 介護予防の普及啓発	
評価	指標	-	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	継続
	2018年度		継続
	2019年度		継続
	2020年度		継続
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合健康づくり月間」において、フレイル予防の普及啓発を行いました。</li> <li>・「FC町田ゼルビア」と協働し、自宅のできる筋力トレーニングの動画を作成し、フレイル予防の普及啓発を行いました。</li> <li>・介護予防月間地域型イベントを各高齢者支援センターで実施しました。(15回、延べ353名参加)</li> <li>・介護予防に関する講演会を実施しました。(2回、197名参加)</li> </ul>	
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、市民の方が介護予防への関心や意識を高め、ご自身や地域の健康づくりに楽しみながら取り組んでいただけるように、各種イベントでのPRや広報媒体等を活用した情報発信を推進します。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染状況に応じ、適切な対応をしていく必要があります。</li> </ul>	

基本目標 1	地域参加と生きがいつくりの推進	
基本施策 (3)	地域の担い手づくり	計画p.52~/修正p.13~

### 施策 ① 高齢者の地域参加の推進

事業名				ア. いきいきポイント制度	
評価	指標	①登録者数 ②活動場所数		進捗 評価	
		目標値	実績値		
	2017年度		①1,937人 ②234箇所	○	
	2018年度		①2,080人 ②243箇所	△	
	2019年度		①2,169人 ②245箇所	△	
	2020年度	①2,300人 ②252ヶ所	①2,260人 ②245ヶ所	○	
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規登録研修会を年間で16回(見込み)実施し、新たに138名(見込み)が登録しました。新規登録施設は8施設となりました。新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの施設でボランティアの受け入れを中止しており、登録者数・登録施設数ともに例年より伸び悩みました。</li> <li>・登録者向けに、今後の活動促進を目的とした研修会を1回実施しました。</li> </ul>			
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の周知等を実施し、引き続き、高齢者のさらなる地域貢献活動・社会参加を推進します。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染状況に応じ、適切な対応をしていく必要があります。</li> </ul>			
事業名				イ. 介護予防サポーター養成事業	
評価	指標	介護予防サポーター養成講座の修了者数(累計)		進捗 評価	
		目標値	実績値		
	2017年度		918人	○	
	2018年度		982人	◎	
	2019年度		1054人	◎	
	2020年度	1,015人	1,077人	◎	
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・養成講座を2期開催し、新たに23名の方が修了しました。</li> </ul>			
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き養成講座を開催し、地域で介護予防の普及啓発ができる人材を養成します。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染状況に応じ、対策を講じた上で講座を開催するとともに、修了後の活動方法等について支援やアドバイスを行います。</li> </ul>			
事業名				ウ. 支え合い連絡会	
評価	指標	-		進捗 評価	
		目標値	実績値		
	2017年度	継続	継続	○	
	2018年度		継続	○	
	2019年度		継続	○	
	2020年度		継続	○	
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市全域での「町田市支え合い連絡会」を2回、「町田市支えあい連絡会移動支援分会」を2回実施し、地域課題について検討しました。</li> <li>・12高齢者支援センターで、地域課題の把握や解決を目的とした「支え合い連絡会」を計47回(10月末時点)実施しました。</li> </ul>			
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動支援については、市内の事業所やボランティア等と協力して取り組みをすすめていきます。</li> <li>・12か所の高齢者支援センターで把握された地域課題のうち、地域で解決可能な課題について、取り組みを進めます。</li> </ul>			

事業名		エ. 地域活動団体型サービス		
評価	指標	地域活動団体型サービス実施団体数		進捗 評価
		目標値	実績値	
	2017年度		39団体	○
	2018年度		71団体	◎
	2019年度		77団体	◎
	2020年度	54団体	77団体	◎
2020年度の具体的な取組・成果	<p>・2019年度まで「介護予防・生活支援サービス事業」の通所型サービスである「地域活動団体型サービス」として実施していましたが、2020年度から「一般介護予防事業」である「まちだ互近助クラブ」として実施しました。</p> <p>・77団体(登録のみ18団体、補助金申請59団体)が登録に至りました。</p>			
課題および今後の方向性	<p>・生活支援コーディネーターの取り組みを中心に、実施団体の発掘や、育成を行います。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染状況に応じ、適切な対応をしていく必要があります。</p>			

事業名		オ. 市基準型サービス		
評価	指標	まちいきヘルパーの養成人数		進捗 評価
		目標値	実績値	
	2017年度	拡充	65人	○
	2018年度		19人	△
	2019年度		28人	△
	2020年度		28人	○
2020年度の具体的な取組・成果	<p>・生活援助に特化した「まちいきヘルパー」の養成研修を1回実施しました。研修最終日には就労に向けた取組みとして、訪問介護事業者の就職相談会を行いました。今年度は就職相談会について、介護人材バンクによる就労支援を追加するなど見直しを図り、より多くの方が就労につながるよう工夫しました。</p> <p>・養成研修受講申込者の拡大に向け、「いきいきポイント制度」登録者向けの通知時にチラシを同封するなど、周知方法を工夫しました。</p>			
課題および今後の方向性	<p>・より多くの「まちいきヘルパー」養成に向け、引き続き、周知方法等検討していきます。</p>			

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進	
基本施策(1)	見守り支援ネットワークの推進【重点】	計画p.54~/修正p.15~

### 施策 ① 見守り支援ネットワークの地域の拡充

事業名				ア. 高齢者見守り支援ネットワーク事業			
指標				高齢者見守り支援ネットワーク実施の町内会・自治会数(累計)			
評価		目標値		実績値		進捗評価	
	2017年度			52箇所		◎	
	2018年度			56箇所		○	
	2019年度			57箇所		○	
	2020年度		58箇所	59箇所(見込)		○	
2020年度の具体的な取組・成果				<p>・新たに町内会・自治会で見守り支援ネットワークを2つ構築し、累計として59の町内会・自治会で見守りが実施されています。</p> <p>・市民に見守りの普及啓発を図るため、高齢者見守り普及啓発講座を32回実施しました。新型コロナウイルス感染症により講座の開催方法が限定される中、今年度から取り入れた30分の「ミニ講座」を活用し、感染対策を行いながら事業を継続しました。(ミニ講座29回・レギュラー講座3回)</p>			
課題および今後の方向性				<p>・引き続き、見守り活動を実施している町内会自治会への支援を行うとともに、地域で様々な取組を行っている自主グループにも普及啓発を行い、地域での見守りの目を広げていきます。</p>			
事業名				イ. 事業者での見守り			
指標				見守り事業者数(累計)			
評価		目標値		実績値		進捗評価	
	2017年度		拡充	524事業者		◎	
	2018年度			581事業者		◎	
	2019年度			590事業者		◎	
	2020年度			600事業者(見込)		◎	
2020年度の具体的な取組・成果				<p>・さらなる見守り体制の強化を図るため、新たに市内にある地方銀行(きらぼし銀行)と協定を締結し、協定事業所数は10事業所増えて合計600事業所となりました。</p> <p>また、11月に協定事業所を対象に、見守りについての研修会を開催しました。</p>			
課題および今後の方向性				<p>・高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、引き続き見守りに協力していただける事業者の拡充を図ります。</p>			
事業名				ウ. あんしんキーホルダー事業			
指標				あんしんキーホルダー新規登録数			
評価		目標値		実績値		進捗評価	
	2017年度			2,400個		○	
	2018年度			2,383個		△	
	2019年度			1,696個		△	
	2020年度		2,800個	1,200個(見込)		△	
2020年度の具体的な取組・成果				<p>・自治会・町内会への働きかけや見守り普及啓発講座の開催時に周知を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、周知の機会が減少し、1,200個(見込)の登録にとどまりました。</p> <p>・総登録数は、22,363個(見込)です。</p>			
課題および今後の方向性				<p>・引き続き、普及啓発を行い、登録者数の拡大を図ります。</p>			

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進	
基本施策 (2)	要配慮高齢者支援	計画p.56~/修正p.17~/

### 施策 ① 徘徊高齢者捜索ネットワーク

事業名		ア. 行方不明徘徊高齢者捜索ネットワーク	
評価	指標	捜索協力機関数(累計)	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	52事業所
	2018年度		58事業所
	2019年度		58事業所
	2020年度		58事業所(見込)
2020年度の具体的な取組・成果	捜索協力機関と連携し、高齢者が行方不明になった際に対応しました。		
課題および今後の方向性	引き続き、捜索協力機関と連携を図っていきます。		

事業名		イ. 救急緊急通報システム	
評価	指標	利用者数	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	394人
	2018年度		451人
	2019年度		439人
	2020年度		411人(見込)
2020年度の具体的な取組・成果	・慢性疾患等がある高齢者宅に、緊急時に対応できる通報機器を設置しました。		
課題および今後の方向性	・事業の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。		

### 施策 ② 災害時要配慮者支援

事業名		ア. 災害時要配慮者支援体制	
評価	指標	-	
		目標値	実績値
	2017年度	拡充	拡充
	2018年度		拡充
	2019年度		拡充
	2020年度		拡充
2020年度の具体的な取組・成果	・市内介護保険事業所等との災害時の連携強化に向けて、介護保険事業所等災害時情報伝達マニュアルを改定し、市内の介護保険事業所等と協働で災害時情報伝達訓練を実施しました。 ・災害時、迅速かつ円滑な避難の確保に特に配慮が必要な高齢者等の避難支援・安否確認のため、避難行動要支援者名簿に介護保険サービスの利用状況等の掲載項目を新たに追加しました。		
課題および今後の方向性	・2020年度に改定した介護保険事業所等災害時情報伝達マニュアルを検証し、必要に応じ見直しを行う必要があります。		

事業名		イ. 福祉避難施設(二次避難施設)	
評価	指標	協定締結施設数(累計)	
		目標値	実績値
	2017年度	拡充	30施設
	2018年度		30施設
	2019年度		29施設
	2020年度		31施設(見込)
2020年度の具体的な取組・成果	・災害時に特に配慮が必要な高齢者等の避難先の確保に向けては、二次避難施設の拡充のため、協定締結基準を見直し、広く対象施設へ周知の上、協定締結希望施設を募集しました。これにより、協定締結施設が2施設増加する見込みです。		
課題および今後の方向性	・災害時に特に配慮が必要な高齢者等の避難先は依然として不足しており、引き続き協定施設拡大に向け取り組んでいく必要があります。		

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進	
基本施策 (3)	生活支援サービスの実施	計画p.58~/修正p.18~

### 施策 ① 適切な生活支援サービスの実施

事業名				ア. 食の自立支援サービス			
評価	指標	利用者数(実人数)				進捗評価	
		目標値	実績値				
	2017年度	実施	603人				○
	2018年度		589人				○
	2019年度		612人				○
	2020年度		640人(見込)				○
2020年度の具体的な取組・成果		・利用者への食事の配達と安否確認を行いました。					
課題および今後の方向性		・安否確認を主目的とする事業であることから、制度趣旨の周知に努めます。 ・利用者が増加していることから、事業の継続性の確保が課題です。					
事業名				イ. 寝具洗濯乾燥消毒サービス			
評価	指標	利用者数(実人数)				進捗評価	
		目標値	実績値				
	2017年度	実施	50人				○
	2018年度		49人				○
	2019年度		46人				○
	2020年度		45人(見込)				○
2020年度の具体的な取組・成果		・利用者に対し寝具の乾燥消毒(年6回)、丸洗い(年1回)を実施しました。					
課題および今後の方向性		・制度の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。					
事業名				ウ. 高齢者のための暮らしのてびきの作成・配布			
評価	指標	印刷冊数				進捗評価	
		目標値	実績値				
	2017年度	実施	500冊				○
	2018年度		20,500冊				○
	2019年度		0冊				△
	2020年度		0冊				△
2020年度の具体的な取組・成果		・2018年度に印刷した冊子を、引き続き行政窓口や高齢者支援センター等で配布しました。 ・2021年度の改訂版発行に向け、制度や事業の記事の修正をしました。また、有料広告を新たに募集しました。					
課題および今後の方向性		・高齢者向けのイベントでも配布し、より多くの方に情報が行きわたるよう工夫をしていきます。					
事業名				エ. 長寿祝金の贈呈			
評価	指標	贈呈人数				進捗評価	
		目標値	実績値				
	2017年度	実施	63人				○
	2018年度		64人				○
	2019年度		75人				○
	2020年度		81人				○
2020年度の具体的な取組・成果		・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、100歳の対象者への長寿祝金の贈呈について民生委員の訪問を中止し、口座振込へ変更しました。また、88歳及び99歳の方へ祝詞を送付しました。 ・市内最高齢の女性(108歳)と男性(106歳)に記念品を贈呈しました。新型コロナウイルス感染防止のため、例年実施していた市長による居宅訪問を、オンライン面会へ変更して長寿を祝い、その様子を広報に掲載しました。					
課題および今後の方向性		・今後も祝金の贈呈と最高齢の方への記念品贈呈を実施していきます。 ・88歳及び99歳に贈呈した祝詞については、デザイン等の工夫を今後もしていきます。					

事業名		才. 高齢者無料入浴券の配布		
評価	指標	交付人数		進捗評価
			実績値	
	2017年度	実施	81人	○
	2018年度		68人	○
	2019年度		60人	○
	2020年度		55人	○
2020年度の具体的な取組・成果		・申請のあった方に入浴券を交付しました。		
課題および今後の方向性		・制度の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。		
事業名		カ. 高齢者調髪券の交付		
評価	指標	交付人数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	実施	6,797人	○
	2018年度		7,310人	○
	2019年度		7,106人	○
	2020年度		7,116人	○
2020年度の具体的な取組・成果		・該当者に調髪券を交付しました。 ・緊急事態宣言を受け、調髪券の有効期間を延長することで、利便性の向上を図りました。		
課題および今後の方向性		・利用者が増加していることから、事業の継続性の確保が課題です。		
事業名		キ. シルバー調髪カード発行事業		
評価	指標	発行人数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	実施	103人	○
	2018年度		116人	○
	2019年度		115人	○
	2020年度		100人(見込)	○
2020年度の具体的な取組・成果		・高齢者調髪協力店ならびに高齢者福祉課窓口にて、申請のあった方にシルバー調髪カードを発行しました。		
課題および今後の方向性		・制度の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。		
事業名		ク. 在宅高齢者紙おむつ支給事業		
評価	指標	支給人数(延べ)		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	実施	919人	○
	2018年度		910人	○
	2019年度		984人	○
	2020年度		1,054人	○
2020年度の具体的な取組・成果		・新規利用申請者及び継続利用者に対して、年4回、紙おむつ及びパットを支給しました。		
課題および今後の方向性		・制度の周知に努め、必要な方への利用を呼びかけていきます。		

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進	
基本施策(4)	高齢者支援センターの機能の充実【重点】	計画p.59~/修正p.20~

**施策 ① 身近な相談体制の強化**

事業名				ア. 高齢者支援センター運営事業			
評価	指標	①地域ケア会議運営ガイドライン作成・実施 ②設置箇所数				進捗	
		目標値		実績値		評価	
	2017年度			①作成 ②12箇所			○
	2018年度			①実施 ②12箇所			○
	2019年度			①見直し ②12箇所			○
	2020年度	①実施 ②検討		①見直し ②13箇所			○
2020年度の具体的な取組・成果		<p>・地域ケア会議運営ガイドラインに沿って、地域ケア推進会議を開催し、地域の課題抽出・検討を行いました。</p> <p>・また、在宅医療・介護連携に関する地域ケア推進会議については、4月に開設した13箇所目の地域包括支援センターである医療と介護の連携支援センターが開催支援を行いました。</p>					
課題および今後の方向性		<p>・引き続き、より効果的な地域ケア推進会議の開催ができるように、地域ケア会議運営ガイドラインの見直しや医療と介護の連携支援センターによる開催支援を進めます。</p>					

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進	
基本施策 (5)	認知症高齢者及び家族介護者支援【重点】	計画p.63~/修正p.21~

### 施策 ① 認知症高齢者支援

事業名				ア. もの忘れ相談事業			
指標				実施件数			
評価		目標値		実績値		進捗評価	
	2017年度			223件		○	
	2018年度			209件		○	
	2019年度			210件		○	
	2020年度		144件	183件(見込)		○	
2020年度の具体的な取組・成果				高齢者支援センターで実施する医師によるもの忘れ相談は183件でした。			
課題および今後の方向性				引き続き、もの忘れ相談事業を実施し、認知症の方やその介護者に対する早期支援を行います。			
事業名				イ. 認知症サポーター養成講座事業			
指標				認知症サポーターの人数(累計)			
評価		目標値		実績値		進捗評価	
	2017年度			23,421人		○	
	2018年度			27,443人		○	
	2019年度			30,955人		○	
	2020年度		31,600人	32,003人(見込)		○	
2020年度の具体的な取組・成果				<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座を54回開催し、計1,048人が受講しました。</li> <li>・認知症サポーターの理解をさらに深めるための認知症サポーターステップアップ講座を2回実施し、33人が受講しました。</li> </ul>			
課題および今後の方向性				引き続き、認知症サポーター養成講座を実施し、認知症についての普及啓発を進めていきます。			

### 施策 ② 認知症高齢者の家族への支援

事業名				ア. 町田市認知症施策推進協議会の開催			
指標				-			
評価		目標値		実績値		進捗評価	
	2017年度		継続	継続		○	
	2018年度			継続		○	
	2019年度			継続		○	
	2020年度			継続		○	
2020年度の具体的な取組・成果				町田市認知症施策推進協議会を年2回開催し、認知症の人やその家族の視点を重視した取組の推進や、認知症早期対応・受診の支援の充実について協議しました。			
課題および今後の方向性				引き続き、認知症施策推進協議会を開催し、町田市の認知症施策の検討を行います。			
事業名				イ. 臨床心理士等による介護者等相談			
指標				実施件数			
評価		目標値		実績値		進捗評価	
	2017年度			184件		○	
	2018年度			189件		○	
	2019年度			176件		○	
	2020年度		144件	141件(見込)		○	
2020年度の具体的な取組・成果				高齢者支援センターで実施する臨床心理士による相談は141件でした。			
課題および今後の方向性				引き続き、臨床心理士等による介護者等相談を実施し、認知症の方やその介護者に対する早期支援を行います。			

### 施策 ③ 家族介護者の負担軽減となる支援

事業名		ア. 家族介護者教室		
評価	指標	実施回数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度		25回	○
	2018年度		24回	○
	2019年度		23回	○
2020年度	24回	24回(見込)	○	
2020年度の具体的な取組・成果	・家族介護者教室を24回(見込)開催しました。			
課題および今後の方向性	・引き続き、各高齢者支援センターで家族介護者教室を開催します。			

事業名		イ. 家族介護者交流会		
評価	指標	実施回数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度		105回	○
	2018年度		99回	○
	2019年度		116回	○
2020年度	72回	86回(見込)	○	
2020年度の具体的な取組・成果	・家族介護者交流会を86回開催しました。			
課題および今後の方向性	・引き続き、各高齢者支援センターで家族介護者交流会を開催します。			

事業名		ウ. 行方不明高齢者家族支援サービス事業		
評価	指標	行方不明高齢者家族支援サービス利用者数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度		60人	○
	2018年度		83人	○
	2019年度		87人	○
2020年度	85人	102人(見込)	○	
2020年度の具体的な取組・成果	・ホームページ等で事業の周知をするとともに、行方不明となったことがある高齢者の家族に対して事業案内を行い、利用促進を図りました。			
課題および今後の方向性	・引き続き、行方不明者高齢者家族支援サービス事業の周知を行い、利用促進を図っていきます			

基本目標 2	住み慣れた地域での生活継続の推進	
基本施策(6)	高齢者の権利擁護	計画p.67~/修正p.23~

### 施策 ① 成年後見制度への支援

事業名		ア. 成年後見制度への支援	
評価	指標	高齢者支援センターへの相談件数	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	238件
	2018年度		294件
	2019年度		316件
	2020年度		260件(見込)
2020年度の具体的な取組・成果		・権利擁護に関するパンフレットを市内の介護事業者等に配布して、権利擁護に関する普及啓発を図りました。	
課題および今後の方向性		・引き続き、権利擁護に関するパンフレットを活用して普及啓発を行います。	

事業名		イ. 市民後見人の活用	
評価	指標	登録人数	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	37人
	2018年度		51人
	2019年度		57人
	2020年度		59人
2020年度の具体的な取組・成果		・第4期市民後見人育成研修の実務者研修の修了生24人が面接に進みました。 ・2020年5月に権利擁護支援検討委員会を立ち上げ、専門職からの助言をいただきながら、市民後見人の受任調整およびフォローアップを行いました。	
課題および今後の方向性		・第4期市民後見人育成に引き続き取り組み、市民後見人の登録を行います。 ・引き続き権利擁護支援検討委員会を開催し、専門職からの助言をいただきながら、受任調整およびフォローアップを行います。	

### 施策 ② 高齢者の虐待防止事業

事業名		ア. 高齢者虐待防止連絡協議会	
評価	指標	協議会の回数	
		目標値	実績値
	2017年度		2回
	2018年度		2回
	2019年度		2回
	2020年度	2回	1回
2020年度の具体的な取組・成果		情報共有、事例協議を目的とした高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会を1回実施しました。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、2回開催予定だったところを1回中止とした他、開催した1回分も書面会議としました。	
課題および今後の方向性		引き続き障がい者・高齢者への権利擁護について各機関との連携を図っていきます。	

事業名		イ. 高齢者虐待防止の啓発	
評価	指標	研修会やパンフレット配布	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	実施
	2018年度		実施
	2019年度		実施
	2020年度		実施
2020年度の具体的な取組・成果		・権利擁護に関するパンフレットを市内の介護事業者等に配布して、権利擁護に関する普及啓発を図りました。	
2020年度の具体的な取組・成果		・施設や団体に対し、早期の気づきによる虐待防止を目的として、啓発を行います。	

基本目標 3	自分に合った施設や住まいの選択	
基本施策(1)	高齢者の住まいの選択肢拡大	計画p.70~/修正p.24~

### 施策 ① 在宅生活継続の支援

事業名				ア. 高齢者住宅設備改修給付事業				
指標				利用件数				進捗評価
評価	目標値			実績値				
	継続							
	2017年度			86件		○		
	2018年度			83件		△		
	2019年度			74件		△		
2020年度			76件(見込み)		△			
2020年度の具体的な取組・成果		・高齢者が安心して在宅生活を継続できるよう、住宅設備改修費用の一部を76名に対して給付しました。						
課題および今後の方向性		・今後も高齢者の在宅生活の継続のため、住宅改修研修会等を通じて、ケアマネジャー、高齢者支援センター、施工業者に事業の周知を行い、適切な制度利用を推進します。						

### 施策 ② 多様な住まいの普及

事業名				ア. 高齢者住宅の普及(住宅型有料老人ホーム)				
指標				①施設数 ②定員数				進捗評価
評価	目標値			実績値				
	継続							
	2017年度			①10施設 ②365人		○		
	2018年度			①10施設 ②376人		○		
	2019年度			①10施設 ②394人		○		
2020年度			①12施設 ②464人		○			
2020年度の具体的な取組・成果		・鶴川圏域に1施設(定員30人)、町田圏域に1施設(定員40人)が開設し、合計12施設(定員464人)となりました。						
課題および今後の方向性		・利用状況や市内における整備率の推移を注視します。						

事業名				ア. 高齢者住宅の普及(軽費老人ホーム) ※ケアハウス含む				
指標				①施設数 ②定員数				進捗評価
評価	目標値			実績値				
	継続							
	2017年度			①2施設 ②70人		○		
	2018年度			①2施設 ②70人		○		
	2019年度			①2施設 ②70人		○		
2020年度			①2施設 ②70人		○			
2020年度の具体的な取組・成果		・施設数、定員数に変動はありませんでした。						
課題および今後の方向性		・利用状況や市内における整備率の推移、及び東京都高齢者福祉計画に基づき東京都が示す整備可能定員数を注視します。						

事業名				ア. 高齢者住宅の普及(サービス付高齢者向け住宅)				
指標				①棟数 ②戸数				進捗評価
評価	目標値			実績値				
	継続							
	2017年度			①18棟 ②758戸		○		
	2018年度			①18棟 ②758戸		○		
	2019年度			①19棟 ②814戸		○		
2020年度			①22棟 ②958戸		○			
2020年度の具体的な取組・成果		・鶴川圏域に1棟(47戸)、南圏域に2棟(97戸)が開設し、合計22棟(958戸)となりました。 ※実績値は、サービス付き高齢者向け住宅に登録のある介護付有料老人ホーム(2棟134戸)を含んだ数値となっています。						
課題および今後の方向性		・利用状況や市内における整備率の推移を注視します。						

事業名		イ. 有料老人ホーム(介護付・介護専用)の普及		
評価	指標	①施設数 ②定員数		進捗 評価
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	①37施設 ②3,261人	○
	2018年度		①38施設 ②3,317人	○
	2019年度		①38施設 ②3,317人	○
2020年度		①38施設 ②3,317人	○	
2020年度の具体的な取組・成果	・施設数、定員数に変動はありませんでした。			
課題および今後の方向性	・利用状況や市内における整備率の推移及び東京都高齢者福祉計画に基づき、東京都が示す整備可能定員数を注視します。			

事業名		ウ. 養護老人ホーム		
評価	指標	①施設数 ②定員数		進捗 評価
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	①1施設 ②50人	○
	2018年度		①1施設 ②50人	○
	2019年度		①1施設 ②50人	○
2020年度		①1施設 ②50人	○	
2020年度の具体的な取組・成果	・環境上・経済上の理由により居宅での生活が困難な高齢者を措置による施設入所を行い、支援しました。			
課題および今後の方向性	・在宅で生活上の課題を抱えている高齢者の入所相談について、それぞれの人に合った施設の情報を提供していきます。			

基本目標 3	自分に合った施設や住まいの選択	
基本施策 (2)	地域に密着した介護保険サービスの提供【重点】	計画p.73~/修正p.26~

### 施策 ① 地域に密着した介護保険サービス施設の整備推進

事業名				ア. 地域密着型サービス整備(認知症高齢者グループホーム)			
評価	指標	①施設数 ②定員数				進捗評価	
		目標値		実績値			
	2017年度	拡充		①23施設 ②378人		○	
	2018年度			①23施設 ②378人		○	
	2019年度			①24施設 ②396人		○	
	2020年度			①26施設 ②432人		○	
2020年度の具体的な取組・成果		・堺・忠生圏域に1施設(定員18人)、南圏域に1施設(定員18人)が開設し、合計26施設(定員432人)となりました。					
課題および今後の方向性		・今後の整備については、高齢化率や利用状況の推移を注視しながら、慎重に検討する必要があります。なお、第8期計画では現在の定員数、利用状況、整備率等を総合的に勘案し、新規整備は行わないこととします。					
事業名				ア. 地域密着型サービス整備(認知症対応型デイサービス)			
評価	指標	①施設数 ②定員数				進捗評価	
		目標値		実績値			
	2017年度	継続		①23施設 ②389人		△	
	2018年度			①23施設 ②389人		○	
	2019年度			①23施設 ②389人		○	
	2020年度			①22施設 ②386人		○	
2020年度の具体的な取組・成果		・現施設の稼働率等を考慮し、整備は行わないこととしています。 ・堺・忠生圏域の1施設(定員3人)が廃止となり、合計22施設(定員386人)となりました。					
課題および今後の方向性		・今後の整備については、高齢化率や利用状況の推移を注視しながら、参入希望事業者からの相談に対し、個別に対応します。					
事業名				ア. 地域密着型サービス整備((看護)小規模多機能型居宅介護)			
評価	指標	①施設数 ②定員数				進捗評価	
		目標値		実績値			
	2017年度	拡充		①6施設 ②151人		△	
	2018年度			①6施設 ②151人		○	
	2019年度			①7施設 ②176人		○	
	2020年度			①8施設 ②213人		△	
2020年度の具体的な取組・成果		・堺・忠生圏域に1施設(定員29人)が開設し、既存施設2施設の定員(8人分)が増加したことに伴い、合計8施設(定員213人)となりました。 ・第7期町田市介護保険事業計画で整備予定とした4施設のうち、未整備分の2施設については、募集方法を見直し、通年で再度公募を行いました。事業者から応募はありませんでした。					
課題および今後の方向性		・第8期計画では、公募期間を限定せず、計画期間中随時、参入希望事業者の応募を受け付けます。					

基本目標 3	自分に合った施設や住まいの選択	
基本施策(3)	介護保険施設の整備【重点】	計画p.76~/修正p.28~

### 施策 ① 特別養護老人ホームなどの施設整備の推進

事業名		ア. 広域型介護保険施設整備(特別養護老人ホーム)		
評価	指標	①施設数 ②定員数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	①22施設 ②2,059人	△
	2018年度		①23施設 ②2,149人	○
	2019年度		①23施設 ②2,149人	○
	2020年度		①23施設 ②2,149人	○
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備計画がないため、実績はありませんでした。</li> <li>・施設の老朽化に伴い、移転改築で工事を進めていた施設が2021年2月に竣工しました。新施設の運営開始時期は、2021年6月を予定しています。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス量と待機者の動向や実態等を勘案し、今後の整備のあり方を検討します。なお、第8期計画では、新規整備は行わないこととします。</li> <li>・併設する短期入所生活介護定員から特別養護老人ホーム定員への転換について、一定の条件を設けた上で対応することとします。</li> </ul>		
事業名		ア. 広域型介護保険施設整備(介護老人保健施設)		
評価	指標	①施設数 ②定員数		進捗評価
		目標値	実績値	
	2017年度	継続	①6施設 ②720人	○
	2018年度		①6施設 ②720人	○
	2019年度		①6施設 ②720人	○
	2020年度		①6施設 ②720人	△
2020年度の具体的な取組・成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備予定とした29人分の整備について、通年で再度公募を行いました。事業者から応募はありませんでした。</li> </ul>		
課題および今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス量と待機者の動向や実態等を勘案し、今後の整備のあり方を検討します。なお、第8期計画では、新規整備は行わないこととします。</li> </ul>		

基本目標 4	安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり	
基本施策(1)	介護保険サービスの質の向上	計画p.79~/修正p.29~

**施策 ① 介護保険サービスの質の向上**

事業名		ア. 福祉サービス第三者評価受審助成等事業	
評価	指標	普及啓発	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度		実施 ○
	2018年度		実施 ○
	2019年度		実施 ○
2020年度	事業者及び市民を対象にした普及啓発	実施	○
2020年度の具体的な取組・成果	・市内事業所向けに福祉サービス第三者評価の受審を勧奨する通知を送付しました。		
課題および今後の方向性	・引き続き、事業者・市民に向けた普及啓発を実施します。		

事業名		イ. 介護相談員派遣事業	
評価	指標	訪問施設数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	継続	35施設 ○
	2018年度		35施設 ○
	2019年度		48施設 ◎
2020年度		1施設(見込) ○	
2020年度の具体的な取組・成果	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、訪問先施設が面会制限をしており、例年通り事業を行うことが出来ませんでした。 ・11月から感染予防対策を講じた上で、1施設への訪問を再開することが出来ました。		
課題および今後の方向性	・訪問施設との連携を密にとり、今後の事業運営再開手法等を検討していきます。		

事業名		ウ. ケアマネジメントの充実	
評価	指標	実施事業所数	進捗評価
		目標値	実績値
	2017年度	60事業所	69事業所 ◎
	2018年度		73事業所 ◎
	2019年度		62事業所 ○
2020年度		50事業所(見込) ○	
2020年度の具体的な取組・成果	・町田市で8事業所、高齢者支援センターで42事業所に対して、ケアマネジメント勉強会を実施しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、勉強会を中止したことにより、前年度と比べて実施事業所数が減少しました。 ・各圏域で、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン及び書面にて勉強会を開催しました。		
課題および今後の方向性	・適正な介護サービスを提供するケアプラン作成の支援のために、今後も勉強会を継続します。 ・国保連合会から提供される介護給付適正化関連システムや、給付実績を基にした情報等を活用し、ケアプラン点検対象事業所の選定を行います。		

基本目標 4	安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり	
基本施策(2)	介護人材の育成・確保	計画p.80~/修正p.30~

**施策 ① 介護人材の育成・確保の支援**

事業名		ア. 介護人材開発事業	
評価	指標	研修参加人数	
		目標値	実績値
	2017年度	拡充	1,659人
	2018年度		2,381人
	2019年度		2,090人
	2020年度	↓	1,400人(見込)
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職面接会、市民向け講習会、介護従事者向け各種研修等を開催しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による研修の中止等により、研修参加人数が減少しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、集合型の研修に替えて、研修動画を作成し、配信したり、電子会議システムを活用して、オンライン研修を実施しました。一部の研修は、定員を減員し、感染対策を行った上で実施しました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護現場は、慢性的な人手不足が続いており、更なる人材の確保、研修の充実が必要です。</li> <li>・実技が伴う市民向け研修は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としましたが、今後、対面でなくとも、実技と同じような効果のある研修の実施を検討します。</li> </ul>		

基本目標 4	安心して介護保険サービスを利用できる環境づくり	
基本施策(3)	保健・福祉・医療の連携	計画p.81~/修正p.31~

**施策 ① 医療と福祉の連携**

事業名		ア. 認知症電話相談	
評価	指標	電話相談件数	
		目標値	実績値
	2017年度		238件
	2018年度		165件
	2019年度		232件
	2020年度	350件	163件(見込)
2020年度の具体的な取組・成果	認知症の専門相談窓口における電話相談は163件でした。		
課題および今後の方向性	引き続き、認知症の方やその介護者に対する電話相談を行います。		

事業名		イ. 認知症地域支援推進員の育成	
評価	指標	認知症地域支援推進員数	
		目標値	実績値
	2017年度	継続	51人
	2018年度		45人
	2019年度		40人
	2020年度		38人
2020年度の具体的な取組・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援センターを中心に38名の認知症地域支援推進員を配置しました。</li> <li>・認知症地域支援推進員によるワーキンググループ活動の情報共有等を目的とした認知症地域支援推進員連絡会や認知症地域支援推進員を含む高齢者支援センターの職員の能力向上のための研修やライフサポート研修を行いました。</li> </ul>		
課題および今後の方向性	引き続き、認知症地域支援推進員連絡会や研修を行い、認知症地域支援推進員の能力向上を図ります。		